

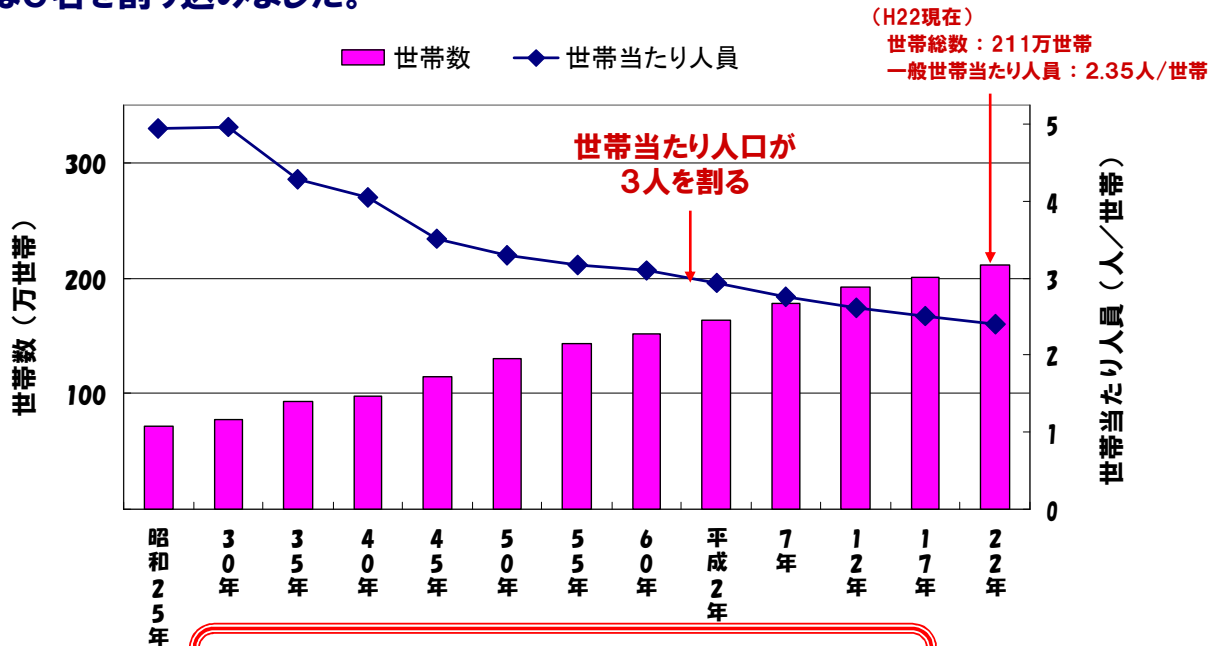
# 第1回 福岡県地域エネルギー政策研究会 配付資料の訂正について

**資料2. 福岡県を取り巻く現状と  
地域エネルギー政策研究会の役割  
(P8, P24, P26, P32, P40, P41)**

## 2-③. 福岡県の世帯数の推移

訂正前

核家族化の進展により、本県の世帯当たり人員は徐々に低下しており、平成に入る頃には3名を割り込みました。



修正箇所

(参考) 平成22年全国データ	全国平均	(市部)	(郡部)
全国の一般世帯当たり人員 (人/世帯)	2.46	2.44	2.78

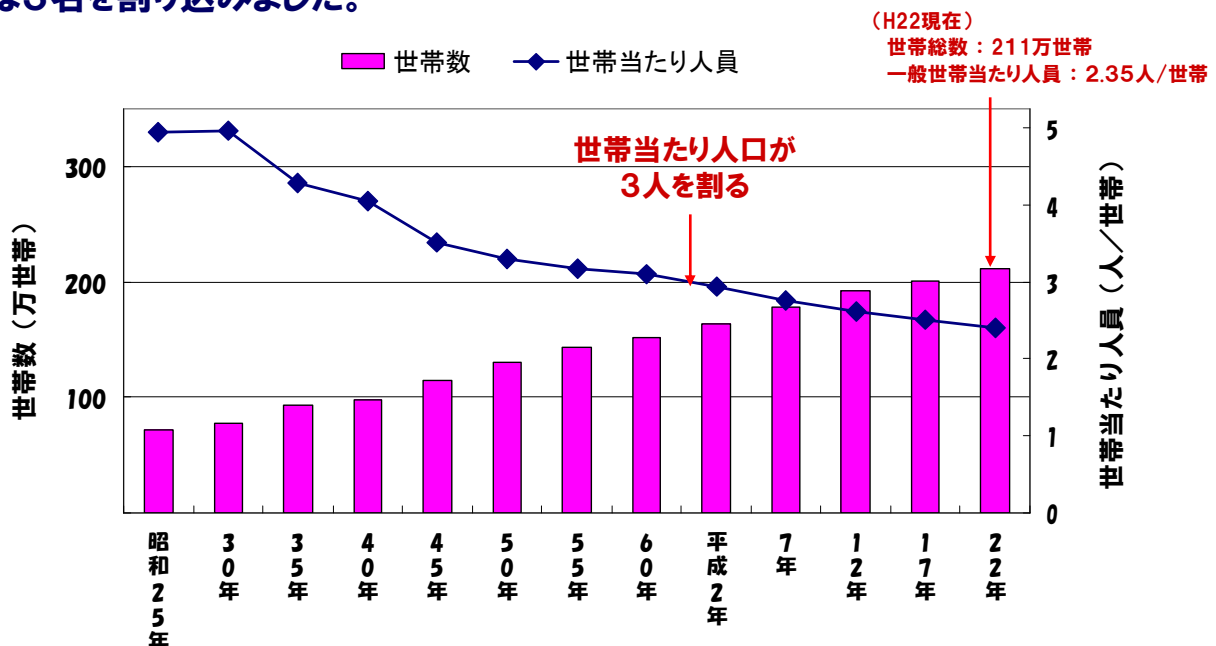
資料) 総務省統計局「国勢調査」

8

## 2-③. 福岡県の世帯数の推移

訂正後

核家族化の進展により、本県の世帯当たり人員は徐々に低下しており、平成に入る頃には3名を割り込みました。



(参考) 平成22年全国データ	全国平均	(市部)	(郡部)
全国の一般世帯当たり人員 (人/世帯)	2.42	2.39	2.72

資料) 総務省統計局「国勢調査」

8

## 4-③. 県内の最終エネルギー消費（平成22年度） 訂正前

本県の最終エネルギー消費は九州・沖縄の40%を占めますが、特に民生部門・運輸部門でその比率が高い傾向にあります。

修正箇所

### 最終エネルギー消費(電力・熱配分後) (平成22年度)

(単位:PJ)

		産業部門	民生部門	運輸部門 (乗用車)
<b>福岡県</b>	<b>676</b>	<b>282</b>	<b>346</b>	<b>48</b>
<b>九州・沖縄</b>	<b>1,677</b>	<b>963</b>	<b>619</b>	<b>95</b>
(福岡県の比率)	(40.3%)	(29.3%)	(55.9%)	(50.5%)
<b>全国</b>	<b>15,746</b>	<b>8,934</b>	<b>6,089</b>	<b>723</b>
(福岡県の比率)	(4.3%)	(3.2%)	(5.7%)	(6.6%)

修正箇所

資料) 独立行政法人 経済産業研究所 研究員 戒能一成 「都道府県別エネルギー消費統計 (平成24年10月改訂版)」  
 ※PJ (ペタジュール) : 千兆ジュール ※68PJが福岡ドーム1杯分の原油の熱量に相当

24

## 4-③. 県内の最終エネルギー消費（平成22年度） 訂正後

本県の最終エネルギー消費は九州・沖縄の35%を占めますが、特に民生部門・運輸部門でその比率が高い傾向にあります。

### 最終エネルギー消費(電力・熱配分後) (平成22年度)

(単位:PJ)

		産業部門	民生部門	運輸部門 (乗用車)
<b>福岡県</b>	<b>676</b>	<b>282</b>	<b>346</b>	<b>48</b>
<b>九州・沖縄</b>	<b>1,929</b>	<b>895</b>	<b>897</b>	<b>137</b>
(福岡県の比率)	(35.0%)	(31.5%)	(38.6%)	(35.0%)
<b>全国</b>	<b>17,037</b>	<b>7,537</b>	<b>8,458</b>	<b>1,042</b>
(福岡県の比率)	(4.0%)	(3.7%)	(4.1%)	(4.6%)

資料) 独立行政法人 経済産業研究所 研究員 戒能一成 「都道府県別エネルギー消費統計 (平成24年10月改訂版)」  
 ※PJ (ペタジュール) : 千兆ジュール ※68PJが福岡ドーム1杯分の原油の熱量に相当

24

## 4-⑤. 県内の産業部門におけるエネルギー消費（平成22年度）

訂正前

本県の産業部門における最終エネルギー消費は、94%以上が製造業由来であり、特に「鉄鋼・非鉄・窯業・土石」の比率が高くなっています。（産業部門全体の2/3）

(単位:PJ)	産業部門									
	福岡県	非製造業			製造業					
		農林水産業	建設業 鉱業		化学 化繊 紙パ	鉄鋼 非鉄 窯業 土石	機械	他業種 中小製造業	重複調整	
福岡県	282	16	6	10	266	26	187	8	53	-8
九州・沖縄	963	127	80	47	837	163	495	33	175	-29
(福岡県の比率)	(29.3%)	(12.6%)	(7.5%)	(21.3%)	(31.8%)	(16.0%)	(37.8%)	(24.2%)	(30.3%)	
全国	8,934	808	338	469	8,126	1,864	3,424	559	2,860	-580
(福岡県の比率)	(3.2%)	(2.0%)	(1.8%)	(2.1%)	(3.3%)	(1.4%)	(5.5%)	(1.4%)	(1.9%)	

修正箇所

資料) 独立行政法人 経済産業研究所 研究員 戒能一成 「都道府県別エネルギー消費統計（平成24年10月改訂版）」  
 ※PJ（ペタジュール）：千兆ジュール ※68PJが福岡ドーム1杯分の原油の熱量に相当

26

## 4-⑤. 県内の産業部門におけるエネルギー消費（平成22年度）

訂正後

本県の産業部門における最終エネルギー消費は、94%以上が製造業由来であり、特に「鉄鋼・非鉄・窯業・土石」の比率が高くなっています。（産業部門全体の2/3）

(単位:PJ)	産業部門									
	福岡県	非製造業			製造業					
		農林水産業	建設業 鉱業		化学 化繊 紙パ	鉄鋼 非鉄 窯業 土石	機械	他業種 中小製造業	重複調整	
福岡県	282	16	6	10	266	26	187	8	53	-8
九州・沖縄	895	105	74	30	791	124	396	37	261	-27
(福岡県の比率)	(31.5%)	(15.2%)	(8.1%)	(33.3%)	(33.6%)	(21.0%)	(47.2%)	(21.6%)	(20.3%)	
全国	7,537	586	296	290	6,951	1,607	2,656	329	2,666	-307
(福岡県の比率)	(3.7%)	(2.7%)	(2.0%)	(3.4%)	(3.8%)	(1.6%)	(7.0%)	(2.4%)	(2.0%)	

資料) 独立行政法人 経済産業研究所 研究員 戒能一成 「都道府県別エネルギー消費統計（平成24年10月改訂版）」  
 ※PJ（ペタジュール）：千兆ジュール ※68PJが福岡ドーム1杯分の原油の熱量に相当

26

## 4-9. 県内の民生部門におけるエネルギー消費（平成22年度）

訂正前

本県の民生部門における最終エネルギー消費は、九州・沖縄の50%以上と高い比率を占めています。

修正箇所

(単位:PJ)	民生部門								
	家庭	業務他							他業務誤差
		水道 廃棄物	商業 金融 不動産	公共 サービス	対事業所 サービス	対個人 サービス			
<b>福岡県</b>	<b>346</b>	<b>150</b>	<b>196</b>	<b>22</b>	<b>66</b>	<b>40</b>	<b>11</b>	<b>40</b>	<b>17</b>
<b>九州・沖縄</b>	<b>619</b>	<b>291</b>	<b>328</b>	<b>29</b>	<b>81</b>	<b>92</b>	<b>28</b>	<b>73</b>	<b>25</b>
(福岡県の比率)	(55.9%)	(51.5%)	(59.8%)	(75.9%)	(81.5%)	(43.5%)	(39.3%)	(54.8%)	(68.0%)
<b>全国</b>	<b>6,089</b>	<b>2,857</b>	<b>3,232</b>	<b>273</b>	<b>833</b>	<b>949</b>	<b>263</b>	<b>683</b>	<b>231</b>
(福岡県の比率)	(5.7%)	(5.3%)	(6.1%)	(8.1%)	(7.9%)	(4.2%)	(4.2%)	(5.9%)	(7.4%)

資料) 独立行政法人 経済産業研究所 研究員 戒能一成 「都道府県別エネルギー消費統計（平成24年10月改訂版）」  
 ※PJ（ペタジュール）：千兆ジュール ※68PJが福岡ドーム1杯分の原油の熱量に相当

修正箇所

32

## 4-9. 県内の民生部門におけるエネルギー消費（平成22年度）

訂正後

本県の民生部門における最終エネルギー消費は、九州・沖縄の38%以上と高い比率を占めています。

(単位:PJ)	民生部門								
	家庭	業務他							他業務誤差
		水道 廃棄物	商業 金融 不動産	公共 サービス	対事業所 サービス	対個人 サービス			
<b>福岡県</b>	<b>346</b>	<b>150</b>	<b>196</b>	<b>22</b>	<b>66</b>	<b>40</b>	<b>11</b>	<b>40</b>	<b>17</b>
<b>九州・沖縄</b>	<b>897</b>	<b>414</b>	<b>483</b>	<b>39</b>	<b>146</b>	<b>129</b>	<b>27</b>	<b>101</b>	<b>41</b>
(福岡県の比率)	(38.6%)	(36.2%)	(40.6%)	(56.4%)	(45.2%)	(31.0%)	(40.7%)	(39.6%)	(41.5%)
<b>全国</b>	<b>8,458</b>	<b>3,903</b>	<b>4,555</b>	<b>315</b>	<b>1,409</b>	<b>1,352</b>	<b>238</b>	<b>903</b>	<b>339</b>
(福岡県の比率)	(4.1%)	(3.8%)	(4.3%)	(7.0%)	(4.7%)	(3.0%)	(4.6%)	(4.4%)	(5.0%)

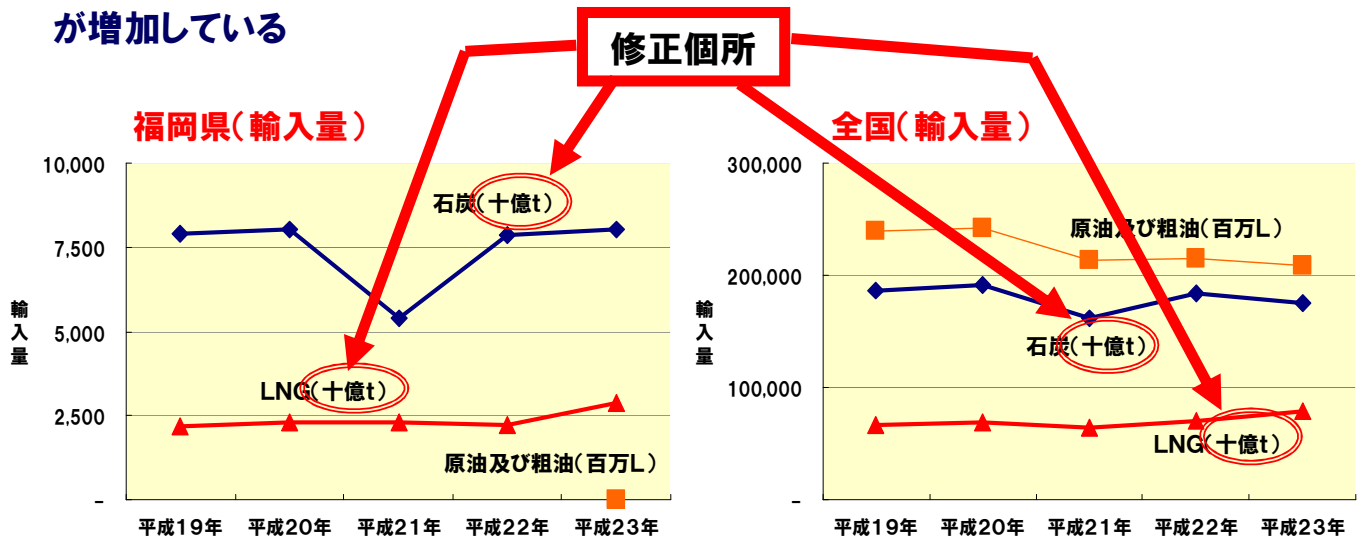
資料) 独立行政法人 経済産業研究所 研究員 戒能一成 「都道府県別エネルギー消費統計（平成24年10月改訂版）」  
 ※PJ（ペタジュール）：千兆ジュール ※68PJが福岡ドーム1杯分の原油の熱量に相当

32

## 5-③. 鉱物性燃料の輸入状況

訂正前

- リーマンショックの影響などにより、鉱物性燃料の輸入量は平成21年に減少
- 東日本大震災後の火力発電の稼働増に伴い、平成23年は液化天然ガスの輸入量が増加している



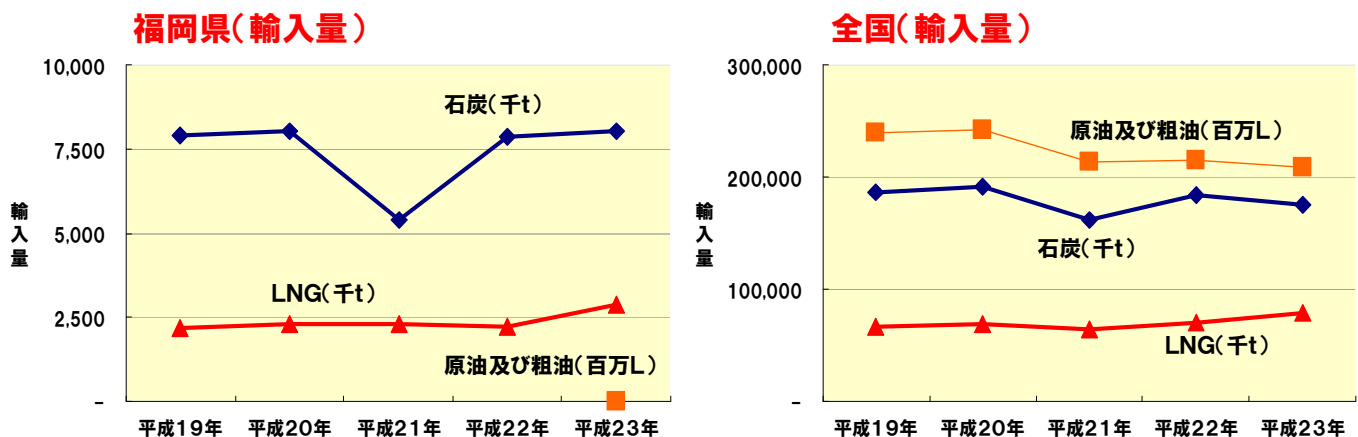
資料) 財務省「貿易統計」, 門司税関

40

## 5-③. 鉱物性燃料の輸入状況

訂正後

- リーマンショックの影響などにより、鉱物性燃料の輸入量は平成21年に減少
- 東日本大震災後の火力発電の稼働増に伴い、平成23年は液化天然ガスの輸入量が増加している



資料) 財務省「貿易統計」, 門司税関

40

## 5-③. 鉱物性燃料の輸入状況

訂正前

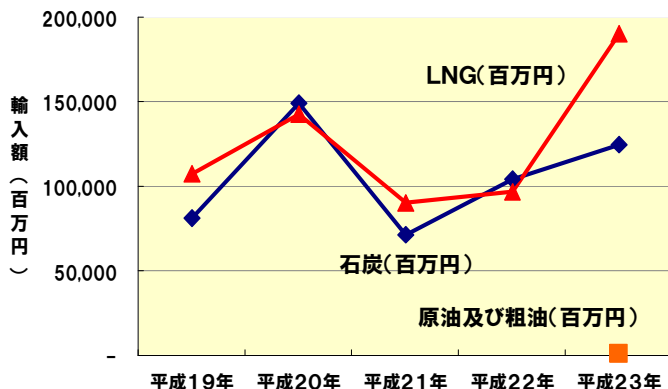
- 平成21年は、「燃料相場下落」に伴い輸入金額も減少
- 平成23年は、「燃料相場の上昇」「東日本大震災後の火力発電の稼働増」に伴い、輸入金額が増加している

平均輸入単価(全国)		平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
石炭	千円/百万t	9.33	15.92	12.71	11.44	14.03
原油及び粗油	千円/kL	51.25	67.26	35.51	43.83	54.65
液化天然ガス	千円/百万t	47.00	67.17	43.80	49.59	60.96

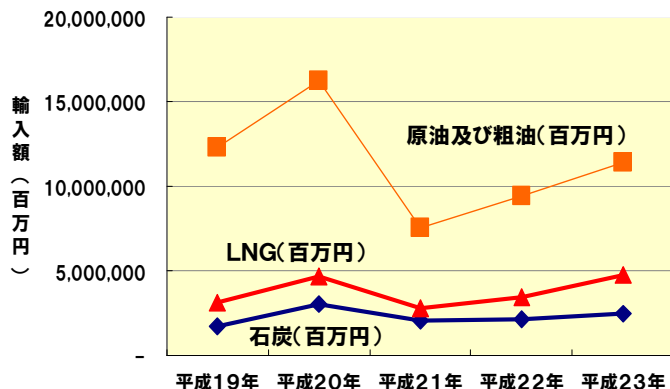
資料) 財務省「貿易統計」, 門司税関

修正箇所

福岡県(輸入金額)



全国(輸入金額)



41

## 5-③. 鉱物性燃料の輸入状況

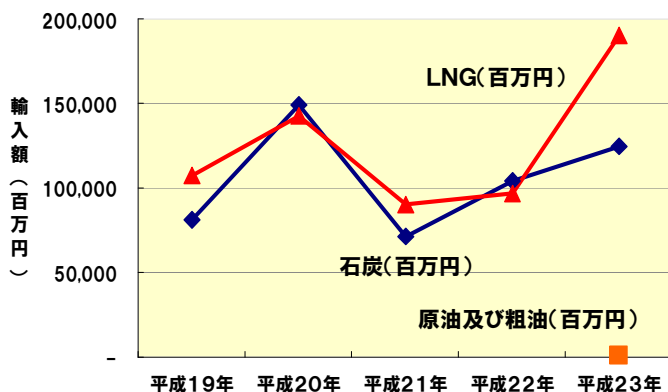
訂正後

- 平成21年は、「燃料相場下落」に伴い輸入金額も減少
- 平成23年は、「燃料相場の上昇」「東日本大震災後の火力発電の稼働増」に伴い、輸入金額が増加している

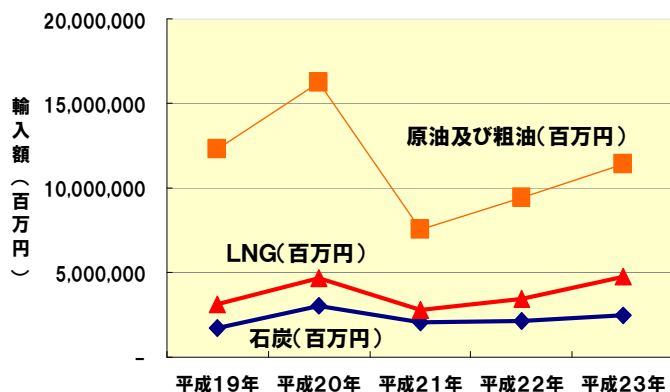
平均輸入単価(全国)		平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
石炭	千円/t	9.33	15.92	12.71	11.44	14.03
原油及び粗油	千円/kL	51.25	67.26	35.51	43.83	54.65
液化天然ガス	千円/t	47.00	67.17	43.80	49.59	60.96

資料) 財務省「貿易統計」, 門司税関

福岡県(輸入金額)



全国(輸入金額)



41